操作ガイド（基本編）

- こんなことができます
- お使いになる前に
- 原稿の取り扱い
- 用紙の取り扱い
- コピーする
- コンピュータからプリントする
- スキャンする
- 日常のメンテナンス
- 困ったときには
- 各種機能の登録／設定
- 付録

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

- 製品の設定方法
- ソフトウェアのインストール

スタートアップガイド

- 各種機能の基本操作
- メンテナンス
- 各種機能の設定
- 仕様

操作ガイド（基本編）（本書）

- 各種機能の応用操作
- システムモニタ
- 困ったときには

操作ガイド（応用編）

- プリントの操作方法
- スキャナの操作方法

ソフトウェアガイド

このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に含まれている PDF マニュアルです。

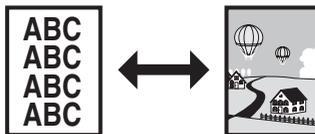
- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 本書は、改良のため画面等は予告なく変更されることがあります。正確な仕様が必要な場合はキヤノンまでお問い合わせください。
- 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

こんなことができます

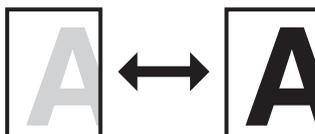
コピー機能

原稿の種類に合わせて、画質を調節する

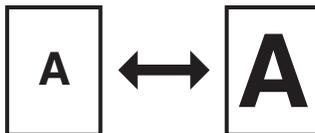
コピー画質の調節

→ P. 4-3

原稿の読み取り濃度を調節する

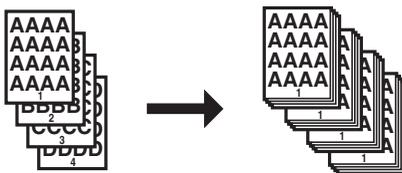
読み取り濃度の調節

→ P. 4-4

コピーサイズを拡大・縮小する

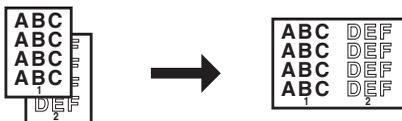
拡大・縮小コピー

→ P. 4-6

ページ順に並べる

ソートコピー

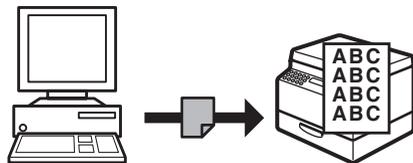
→ 操作ガイド（応用編）

2枚の原稿を1枚の用紙にコピーする

2 in 1

→ 操作ガイド（応用編）

プリンタ機能

コンピュータからプリントする

プリント

→　ソフトウェアガイド

スキャナ機能

原稿に合わせてスキャナを設定する

スキャナ

→　ソフトウェアガイド

目次

はじめに

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品をお使いになる前に、安全のために以下の注意事項をよくお読みください。

安全にお使いいただくために

警告

本書で指示された部位を除き、本製品をご自分で分解したり、修理したりしないでください。感電などの原因になることがあります。本製品の修理については、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

取り扱いと保守／点検について

- 本製品に貼ってある注意ラベルの指示に従ってください。
- 本製品に強い衝撃や振動を与えないでください。
- 本製品を移動または清掃するときは電源コードを抜いてください。
- 紙づまりを防ぐために、プリント中は電源コードの抜き差し、フロントカバーの開閉、用紙の出し入れをしないでください。
- 本製品を移動する場合は、トナーカートリッジを必ず本体から取り外してください。
- トナーカートリッジは、光にさらさないように、購入時に収められていた保護袋に入れるか、厚手の布でくるんでください。
- 持ち運ぶときは、本製品の左右にある取っ手をしっかりと持ってください。用紙カセットや金具部分は、絶対に持たないでください。
- 本製品の内部に異物を入れないでください。異物が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 製品内部にピンやクリップ、ホチキスの針などの金属片を落とさないでください。
- 水などの液体をこぼさないように、本製品の近くでは飲食しないでください。
- 定期的に本製品を清掃してください。ほこりなどがたまると正しく動作しないことがあります。
- 以下のような場合は本製品の電源コードを抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
  - 電源コードやプラグが傷んだり、断線しているとき
  - 本製品の中に水などの液体がこぼれたとき
  - 本製品が雨や水に濡れたとき
  - 同梱の取扱説明書の手順どおりに操作しても本製品が正常に動作しないとき
    手順にない不正な調整をしてしまうと、故障の原因となったり、正常な動作に戻すまでに特殊な修理が必要となったりしますのでご注意ください。
  - 本製品を落としたり、傷つけたりしたとき
  - 本製品の動作に明らかに異常がみられるとき、エラーランプが点滅し続けるとき
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、本製品製造打ち切り後 7 年間です。

設置について

- 平らで、ぐらつきや振動がなく、本製品をしっかりと支えられる場所に設置してください。
- 涼しくて湿気やほこりがなく、風通しの良い場所に設置してください。
- ちりやほこりがない環境でお使いください。
- 高温多湿にならない環境でお使いください。
- 直射日光の当たる場所に設置しないでください。故障の原因になることがあります。窓の近くに設置する場合は、厚手のカーテンまたは日よけを窓に取り付けてください。
- 水気のある場所では使用しないでください。湿気を含んだ物を本製品に近づけないようにしてください。
- 屋外での使用や設置は避けてください。
- スピーカなど磁気を含んだ機器や、磁界を生じる機器の近くに設置しないでください。
- 本製品の通気口を壁や物でふさがないように設置してください。また、ベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口がふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- いつでも電源コードが抜けるように、電源コードの周りには物を置かないでください。異常な音や煙、熱、変なにおいなどが発生した場合は、ただちに電源コードを抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
- 電源コードの上に物を置かないでください。また、電源コードを踏んだり、束ねたり、結んだりしないでください。
- 使用中の製品からは、オゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量にプリントする場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。

電源について

- 雷が鳴ったら、すぐに電源プラグを抜いてください。
- 電源プラグを抜いたときは差し直すまでに 5 分以上間隔をおいてください。
- 電源コードを無停電電源に接続しないでください。

警告

本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そしてただちに、医師にご相談ください。

資源再利用について

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

● **使用済み複写機の受け入れ場所について**

使用済みとなった複写機につきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済み複写機のリサイクルを推進しています。 使用済みの複写機の回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

● **使用済みカートリッジなどの廃棄について**

使用済みとなったカートリッジなどにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みカートリッジの回収とリサイクルを推進しています。 使用済みカートリッジの回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋等に入れて、地域の条例に従い処分してください。

カスタマーサポート

本製品は、メンテナンスフリーで安心してお使いいただけるように作られています。操作上問題が発生したときは、「第８章 困ったときには」を参照してください。それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、本製品を使用する上で安全のためにお守りいただきたいことや、役に立つ情報に下記のマークを付けています。

警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。

注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。

メモ

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。

また本書では、操作するキーとディスプレイに表示されるメッセージを以下のように表記しています。

- キー名称：［ストップ / リセット］
- ディスプレイ：＜ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ＞

本書の操作説明で使用している操作パネル図中の番号は、操作手順の番号に対応しています。

規制について

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

高調波の抑制について

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

物質エミッションの放散に関する認定基準について

粉塵、オゾン、スチレンの放散については、エコマーク No117「複写機 Version2.0」の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しておりますCanon Cartridge U を使用し、白黒複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ62:2002 の付録 3 ～ 5 に基づき試験を実施しました。）

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製したり、加工したりすると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

● 著作物など
他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する場合には肖像権が問題となることがあります。

● 通貨、有価証券など
以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

・ 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
・ 国債証券、地方債証券
・ 郵便為替証書
・ 郵便切手、印紙
・ 株券、社債券
・ 手形、小切手
・ 定期券、回数券、乗車券
・ その他の有価証券

● 公文書など
以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。
・ 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
・ 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
・ 役所または公務員の印影、署名または記号
・ 私人の印影または署名

[関係法律]
・ 刑法
・ 著作権法
・ 通貨及証券模造取締法
・ 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
・ 郵便法
・ 郵便切手類模造等取締法
・ 印紙犯罪処罰法
・ 印紙等模造取締法

商標について

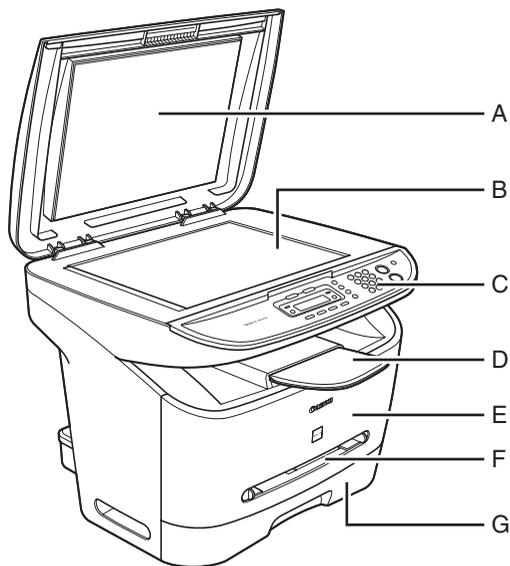
Canon、Canon ロゴ、および Satera はキヤノン株式会社の商標です。
その他、本文中に記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標、または商標です。

著作権について

免責事項

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

1 お使いになる前に

各部の名称とはたらき

A 原稿台ガラスカバー
原稿を原稿台ガラス上に置くときに開きます。

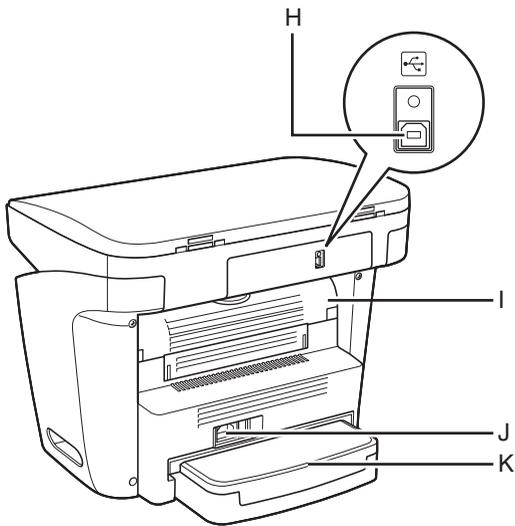
B 原稿台ガラス
原稿を置きます。

C 操作パネル
本製品を操作します。

D 排紙トレイ
出力紙を排紙します。

E フロントカバー
カートリッジを装着したり、つまった用紙を取り除くときに開きます。

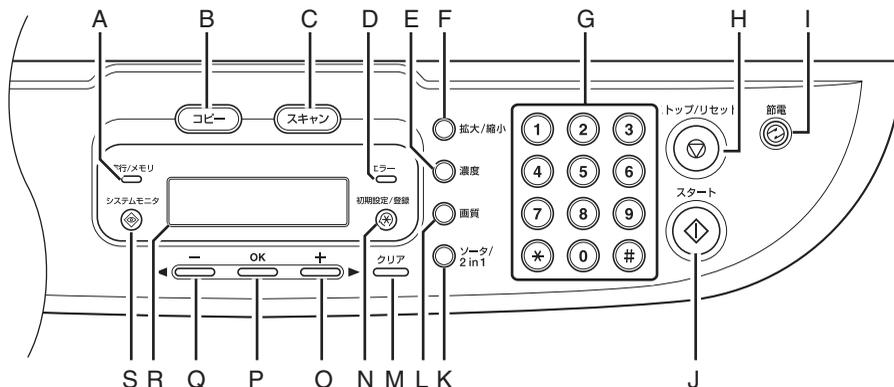
F マルチフィーダ
手差しで 1 枚ずつプリントするときに使用します。

G 用紙カセット
用紙をセットします。

H　USB ポート
USB(Universal Serial Bus) ケーブルを接続します。

I　フェイスアップカバー
用紙を上向きに出力するとき、またはつまった用紙を取り除くときに開きます。

J　電源ソケット
電源コードを接続します。

K　延長カバー
用紙カセット内の用紙をほこりやチリから保護します。

操作パネル

A　実行 / メモリランプ
コピー中やメモリにコピーデータがあるときに緑色に点灯します。

B　［コピー］キー
［コピー］モードに切り替えます。

C　［スキャン］キー
［スキャン］モードに切り替えます。

D　エラーランプ
紙づまりなどエラーが発生した場合に点滅します。

E　［濃度］キー
コピーの濃度を調節するときに押します。

F　［拡大 / 縮小］キー
コピーの拡大／縮小率を設定するときに押します。

G　テンキー
コピー部数などの数字を入力するときに使用します。

H　［ストップ / リセット］キー
コピーなどの操作をキャンセルし、待受表示に戻すときに押します。

I　［節電］キー
手動で節電モードに設定したり解除するときに押します。節電モード設定中は緑色に点灯します。

J　［スタート］キー
コピーやスキャンを開始するときに押します。

K　［ソータ /2in1］キー
コピーをページ番号順に仕分けしたり、2 枚の原稿を縮小して 1 枚の用紙にコピーするときに押します。

L　［画質］キー
原稿の画質を調節するときに押します。

M　［クリア］キー
入力した数字や文字をクリアするときに押します。

N　［初期設定 / 登録］キー
各種の設定・登録を行うときに押します。

O　［✚►］キー
設定値を増加させたり、次の設定項目を表示するときに押します。

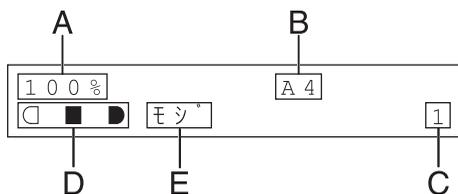
P　［OK］キー
設定または登録した内容を確定するときに押します。

Q　［◄━］キー
設定値を減少させたり、1 つ前の設定項目を表示するときに押します。

R　ディスプレイ
メッセージや動作状況を表示します。また設定時に選択項目、テキスト、数字を表示します。

S　［システムモニタ］キー
プリントやメモリ残量などの状況を確認するときに押します。

ディスプレイ（待受表示）

コピーモード

A　コピー倍率
B　用紙サイズ
C　部数
D　濃度
E　画質

スキャンモード

スキャン　モード

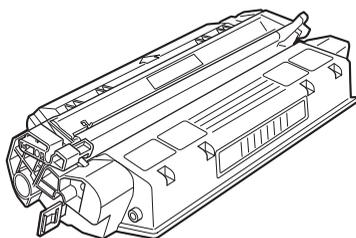
メモ

- 本製品の電源を入れると、ディスプレイはしばらく<ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ>と表示されてから待受画面に切り替わります。
- 1 分間何も操作をしないと、自動的に待受表示に移行します。

トナーカートリッジ

本製品に付属のキヤノン純正トナーカートリッジ（スターター）の寿命は、約 1,500 ページです。また、交換用のキヤノン純正トナーカートリッジの寿命は、約 2,500 ページです。このページ数は、「ISO/IEC 19752」* に基づき、工場出荷時の印字濃度設定のままで、A4 サイズの用紙に 5%の印字率で印刷した場合の値です。トナー消費量は、印刷する書類の内容によって異なります。図・表・グラフなどを多用した、空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、トナーカートリッジの寿命が短くなります。トナーカートリッジの交換の際は、必ず本製品専用のトナーカートリッジを使用してください。

* 「ISO/IEC 19752」とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。

トナーカートリッジ名：
Canon Cartridge U

機種名	同梱品／交換品	対応するキヤノン純正カートリッジ	印字枚数
MF3220	同梱品	Canon Cartridge U Starter	A4 サイズで約 1,500 枚
	交換品	Canon Cartridge U	A4 サイズで約 2,500 枚

トナーカートリッジの取り扱い

- トナーカートリッジをコンピュータ画面やディスクドライブ、フロッピーディスクなどに近づけないでください。トナーカートリッジ内部のマグネットによって破損する恐れがあります。
- トナーカートリッジは、高温多湿や急激に温度が変化するような場所および火気のある場所に保管しないでください。
- トナーカートリッジを直射日光や電灯の光に 5 分以上さらさないでください。
- トナーカートリッジは保護袋に入れて保管し、本製品に取り付けるまで保護袋から取り出さないでください。
- トナーカートリッジの保護袋は保管しておいてください。本製品を移動するときなどに必要になります。
- トナーカートリッジを、塩分を含んだ空気や、エアゾールスプレーなどから出る腐食性ガスが充満している場所に保管しないでください。
- 必要なとき以外は、トナーカートリッジを取り外さないでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラム表面を光にさらしたり、傷つけたりすると、プリント品質が低下する恐れがあります。

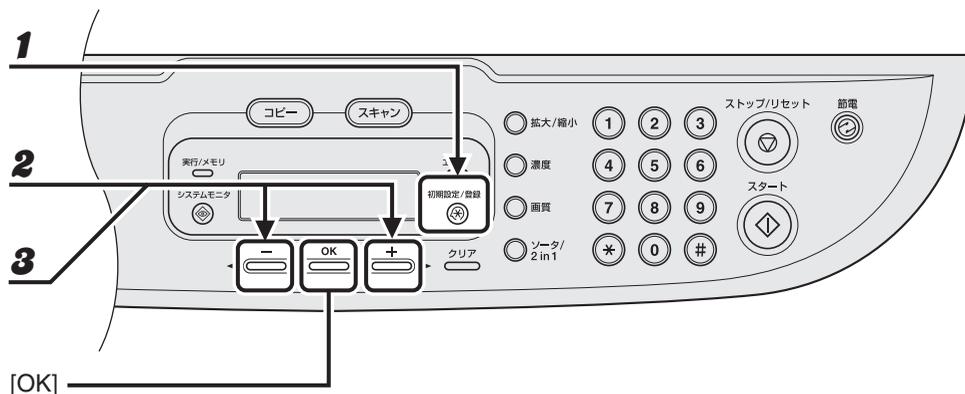
- トナーカートリッジを取り扱う際は、ドラム保護シャッターに触れないようにしてください。
- トナーカートリッジを立てて置いたり、逆さにしたりしないでください。トナーカートリッジ内部でトナーが固まってしまい、振っても元に戻らなくなることがあります。
- 使用済みトナーカートリッジを廃棄する場合は、トナー容器を保護袋に入れてトナーが飛び散らないようにし、自治体の指示に従って処理してください。
- カートリッジからトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。
- カートリッジを本体から取り外すときは、トナーが飛び散って目や口などにトナーが入らないように、丁寧に取り出してください。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- トナーなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- カートリッジは分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

注意

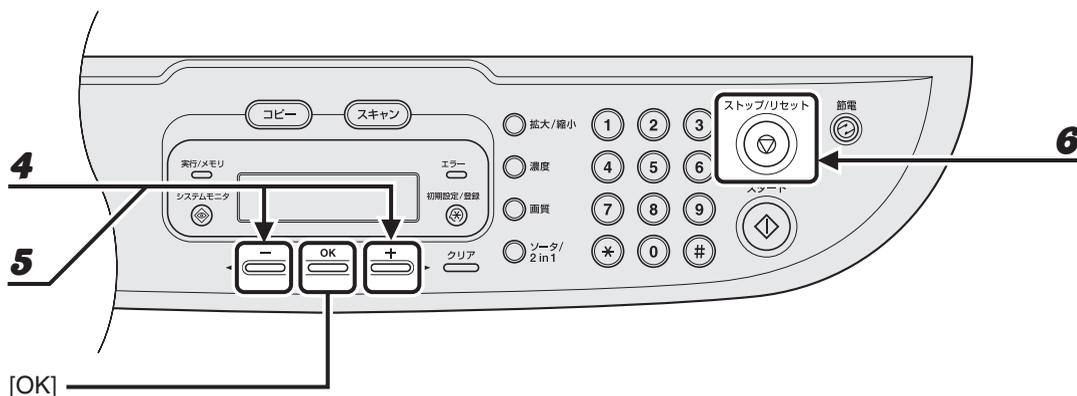
トナーが発火してやけどの原因になることがあるので、トナーカートリッジを火の中に投げ入れないでください。

節電モード

節電モードを設定する

本製品はある一定時間何も操作をしないと、自動的に節電モードに移行します。

1 ［初期設定 / 登録］を押します。

2 ［◄ー］または［+►］を押して、＜ﾀｲﾏｰ ｾｯﾃｲ＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ー］または［+►］を押して、＜ｵｰﾄｽﾘｰﾌﾟ＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄－］または［＋►］を押して、< ON >を選択し、［OK］を押します。

5 ［◄－］または［＋►］を押して、節電モードへ移行するまでの時間を選択し、［OK］を押します。

3 ～ 30 分の範囲を 1 分単位で設定することができます。
テンキーを押して入力することもできます。

6 ［ストップ / リセット］を押して、待受表示に戻ります。

メモ

- ［節電］を押すと、手動で節電モードに移行することができます。
- 次の状態のときは、節電機能は働きません。
  - コピー中またはプリント中、読み取り中
  - 実行 / メモリランプが点灯しているとき
  - エラーメッセージが表示され、エラーランプが点滅したとき
  - 用紙カセットの用紙が切れたとき
  - 用紙がマルチフィーダにセットされているとき
  - 紙づまりが発生したとき
- 次の操作をすると、節電モードが解除されます。
  - ［節電］を押す
  - パソコンからプリントまたはスキャニングを開始する

原稿の取り扱い

使用可能な原稿

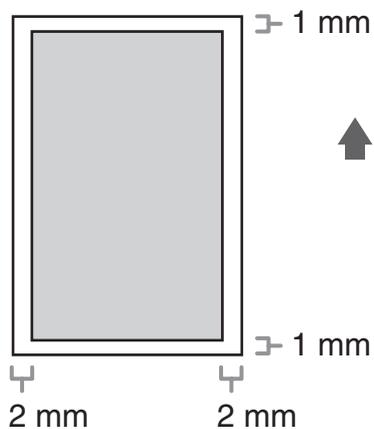
原稿の種類	・ 普通紙 ・ 厚紙 ・ 写真 ・ 小型原稿（名刺サイズ等） ・ 特殊紙（トレーシングペーパー*、OHP フィルム* 等） ・ 本（厚さ：最大 35mm）
サイズ（幅×長さ）	最大 216mm × 297mm
重量	最大 2kg
枚数	1 枚

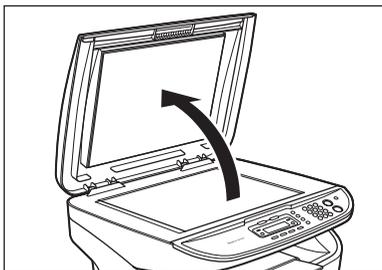
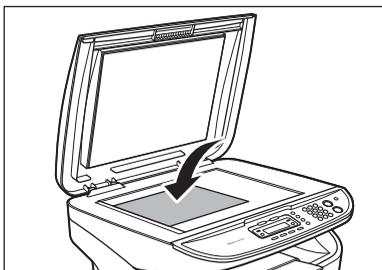
* トレーシングペーパーや OHP フィルムなどの透過原稿をスキャンおよびコピーする際には、原稿の裏に白紙を 1 枚重ねて置いてください。

メモ

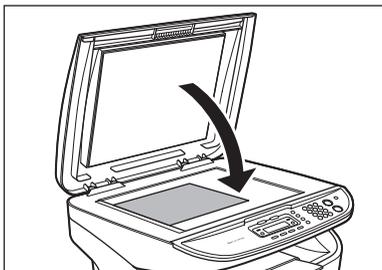
原稿台ガラスに置く前に、原稿ののりやインク、修正液を完全に乾かしてください。

読み取り範囲

原稿の読み取り可能範囲は、次の図の淡色部分です。原稿の文字や画像がこの範囲内に収まることを確認してください。図のマージン幅は最大値です。実際のマージン幅とは異なる場合があります。

原稿を原稿台ガラスにセットする

1 **原稿台ガラスカバーを開きます。**

2 **原稿を下向きに原稿台ガラスに置きます。**

3 **原稿を用紙サイズマークに合わせます。**

原稿がどの用紙サイズのマークにも合わないときは、原稿の中心線を→マークに合わせてください。

4 原稿台ガラスカバーを静かに閉じます。

原稿を読み取る準備ができました。

注意

- 原稿台ガラスカバーを閉じるときは、指をはさまないように注意してください。けがの原因になることがあります。
- 原稿台ガラスカバーを強く押さえないでください。原稿台ガラスが破損して、けがの原因になることがあります。

メモ

原稿の読み込み終了後は、原稿台ガラスから原稿を取り除いてください。

用紙の取り扱い

使用可能な用紙

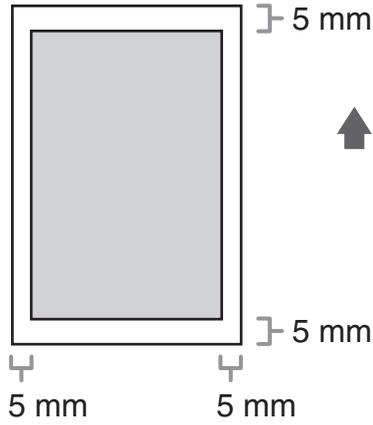
	カセット	マルチフィーダ
用紙の種類	A4 B5 A5 エグゼクティブ 洋形４号 洋形２号 はがき 往復はがき LTR（レター）	A4 B5 A5 エグゼクティブ 洋形４号 洋形２号 はがき 往復はがき LTR（レター） LGL（リーガル）
サイズ（幅×長さ）	76 mm × 127 mm ～ 216 mm × 356 mm	
重量	64 g/m^2 ～ 128 g/m^2	64 g/m^2 ～ 163 g/m^2
枚数	250 枚（64 g/m^2）	1 枚（64 g/m^2）
紙種	普通紙、再生紙*、厚紙、OHP フィルム、ラベル紙、封筒	

* 再生紙は、古紙配合率 100%の再生紙も使用できます。

メモ

工場出荷時には、用紙サイズは <A4> にセットされています。A4 以外の用紙を使用する場合は、用紙サイズの設定を変更する必要があります。（→用紙のサイズと種類を設定する：P.3-7）

プリント範囲

プリントできる最大範囲は、次の図の淡色部分です。

用紙について

- 次の種類の用紙にはプリントしないでください。紙づまりが発生する場合があります。
  - ・ しわのある用紙や折り目のある用紙
  - ・ カールした用紙や丸まった用紙
  - ・ コーティングを施した用紙
  - ・ 破れている用紙
  - ・ 湿っている用紙
  - ・ 片面がすでに熱転写プリンタでプリントされている用紙（裏紙は使用しないでください。）
- 次の種類の用紙にはうまくプリントできません。
  - ・ 繊維の粗い用紙
  - ・ つるつるとした用紙
  - ・ つやのある用紙
- 用紙にほこりや糸くず、油染みなどが付かないようにしてください。
- 用紙を大量に購入するときは、事前にテストプリントを行い、プリントできることを確認してください。
- 用紙は包装紙で包み、平らな場所に保管してください。開封した用紙は包装紙で包み直し、直射日光の当たらない、湿気が少ない場所に保管してください。
- 用紙は、温度 18 ℃～ 24 ℃、湿度 40% ～ 60% の場所で保管してください。
- OHP 用紙は、レーザプリンタ用のものを使用してください。本製品では、キヤノン製 OHP 用紙の使用を推奨します。

用紙をセットする

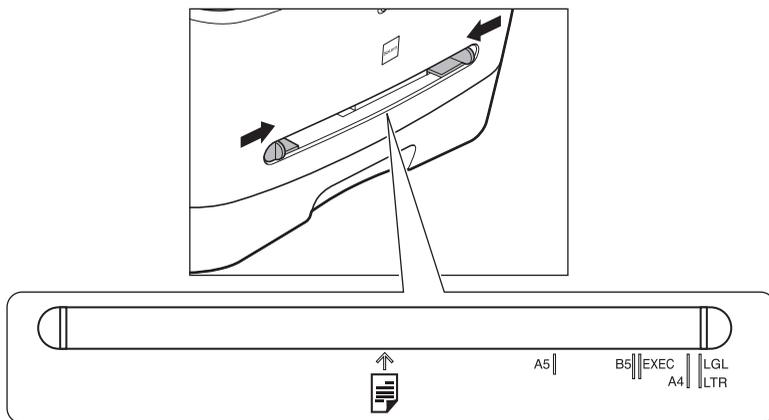
用紙カセットに用紙をセットする方法については、スタートアップガイド「用紙カセットを組み立て、用紙をセットする」を参照してください。

用紙をマルチフィーダにセットする

用紙カセットにセットされている用紙と異なる用紙にコピーまたはプリントする場合は、マルチフィーダを使用します。マルチフィーダには用紙を 1 枚ずつセットします。

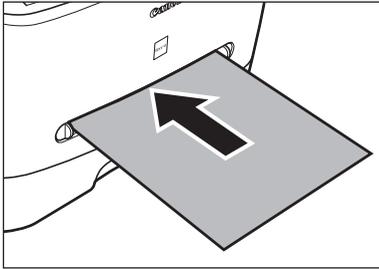
メモ

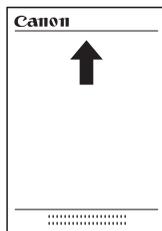
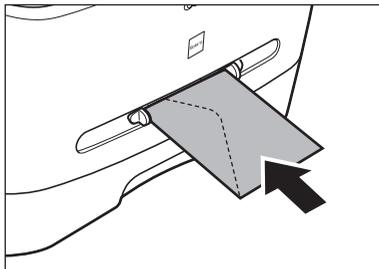
- マルチフィーダにセットされた用紙は、用紙カセットにセットされた用紙よりも先に給紙されます。
- 推奨する封筒は洋形 4 号および洋形 2 号です。これ以外の封筒を使用すると、きちんとプリントされないことがあります。
- プリンタドライバで、用紙サイズが正しく設定されていることを確認してください。(→ソフトウェアガイド「第 2 章 印刷する」)

1 ペーパーガイドをスライドして、セットしたい用紙サイズに合わせます。

メモ

ガイドが用紙のサイズに合っていないと、きちんとプリントされないことがあります。

用紙の取り扱い

2 **用紙をセットする場合は、プリントしたい面を上にしてマルチフィーダにまっすぐに差し込みます。**

メモ

ロゴがプリントされた用紙をセットする場合は、プリントしたい面 (ロゴ側) を上にして、用紙の上端から先にマルチフィーダにセットします。

封筒をセットする場合は、プリントしたい面を上にして右端から先に封筒をマルチフィーダにまっすぐに差し込みます。

注意

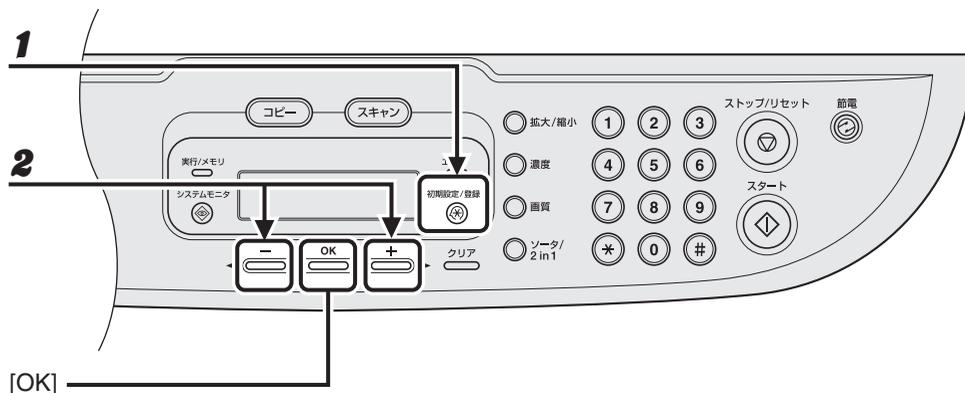
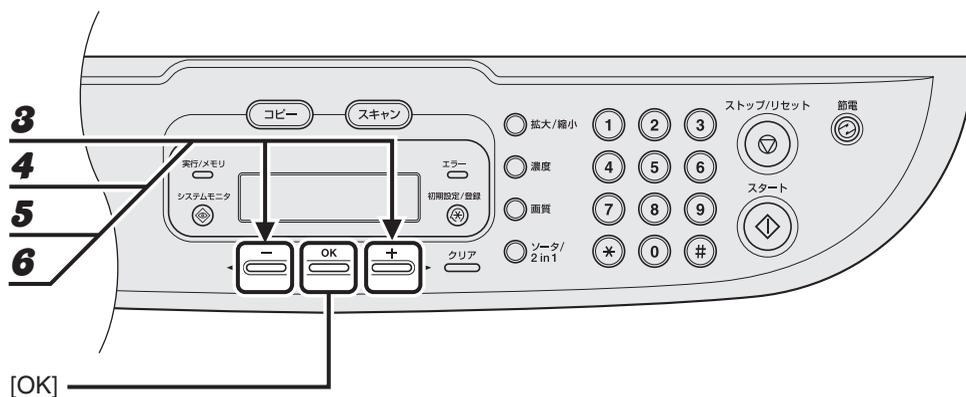
封筒の短いほうの辺にフタがついている場合、必ずフタのついている側からマルチフィーダに差し込んでください。この向きに入れないと紙づまりの原因になります。

3 セットしたい用紙のサイズと種類を設定します。

用紙のサイズと種類の詳しい設定方法は、「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.3-7）を参照してください。

用紙の取り扱い

用紙のサイズと種類を設定する

工場出荷時には、用紙サイズと種類はそれぞれ <A4>、< ﾌﾂｳｼ > にセットされています。用紙カセットやマルチフィーダにセットする用紙のサイズと種類を変更するときは、次の手順で用紙サイズを設定してください。
用紙のサイズと種類を設定する手順は、用紙カセットおよびマルチフィーダで共通です。ただし、手順 4 で＜ｶｾｯﾄ＞または＜ﾃｻﾞ ｼﾄﾚｲ＞のいずれかを選択する必要があります。

---

1 ［初期設定 / 登録］を押します。

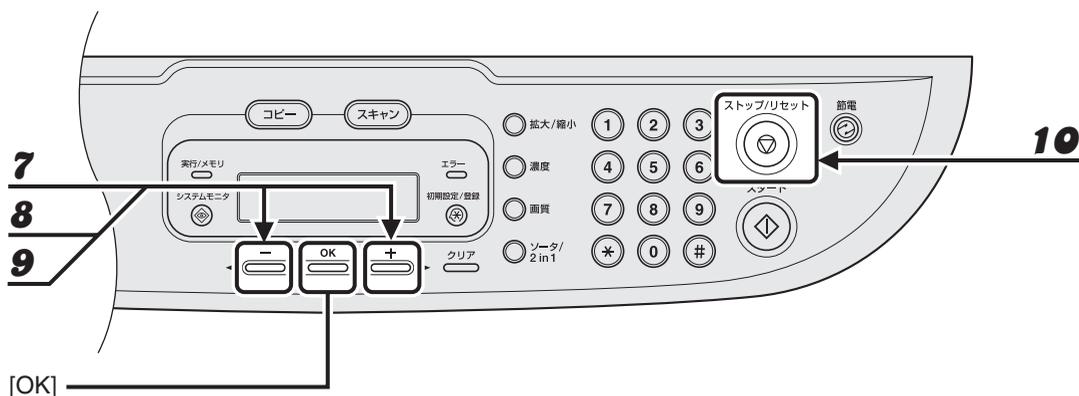
2 ［◄ー］または［＋►］を押して、＜ｷｮｳﾂｳ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ー］または［＋►］を押して、＜ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ー］または［＋►］を押して、＜ｶｾｯﾄ＞または＜ﾃｻﾞ ｼﾄﾚｲ＞を選択し、［OK］を押します。

5 ［◄ー］または［＋►］を押して < ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ > を選択し、［OK］を押します。

6 ［◄ー］または［＋►］を押して、適切な用紙サイズを選択し、［OK］を押します。

以下の用紙サイズを選択することができます。
A4、B5、A5、ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ、ﾖｳｶﾞﾀ4ｺﾞｳ、ﾖｳｶﾞﾀ2ｺﾞｳ、ﾊｶﾞｷ、ｵｳﾌｸﾊｶﾞｷ、LTR（レター）、LGL（リーガル）*
* マルチフィーダのみ

7 **［◄－］または［＋►］を押して、<ｶｾｯﾄ>または<ﾃｻﾞ ｼﾄﾚｲ>を選択し、［OK］を押します。**

8 **［◄－］または［＋►］を押して <ﾖｳｼﾉ ｼｭﾙｲ> を選択し、［OK］を押します。**

9 **［◄－］または［＋►］を押して、適切な紙種を選択し、［OK］を押します。**

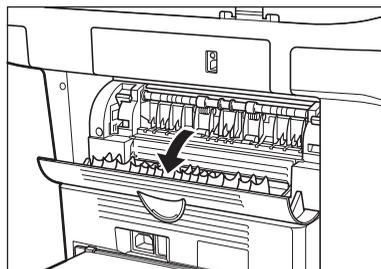
以下の紙種を選択することができます。

- 普通紙 (64g/m^2 ～ 90g/m^2)：<ﾌﾂｳｼ>、<ﾌﾂｳｼ L>*1
- 厚紙 (105g/m^2 ～ 128g/m^2)：<ｱﾂｶﾞﾐ>、<ｱﾂｶﾞﾐH>*2
- OHP フィルム：<OHP ﾌｨﾙﾑ>

*1 <ﾌﾂｳｼ> を選択してプリントすると用紙がひどくカールするときは、<ﾌﾂｳｼ L> を選択してください。
*2 <ｱﾂｶﾞﾐ> を選択してプリントすると薄くなるときは、<ｱﾂｶﾞﾐH> を選択してください。

10 **［ストップ / リセット］を押して、待受表示に戻ります。**

排紙エリアの選択

フェイスアップカバーを開くとフェイスアップ排紙、フェイスアップカバーを閉じるとフェイスダウン排紙になります。

注意

コピー中やプリント中にフェイスアップカバーを開閉しないでください。

フェイスダウン排紙を選択すると、プリント面を下にして排紙トレイに排出されます。フェイスアップ排紙を選択すると、プリント面を上にして排紙エリアから排出されます。フェイスアップカバーを開閉して、目的に合わせて排紙エリアを選択してください。

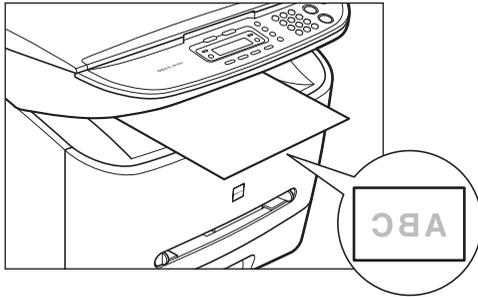
紙種と排紙エリア

紙種および目的に合わせて、最適な排紙エリアを選択してください。

紙種	排紙エリア	出力枚数
普通紙	フェイスアップ	1 枚
	フェイスダウン	約 60 枚 (64g/m^2 ～ 90g/m^2)
普通紙 L	フェイスアップ	1 枚
	フェイスダウン	約 30 枚 (64g/m^2 ～ 90g/m^2)
厚紙	フェイスアップ	1 枚
	フェイスダウン	約 30 枚 (105g/m^2 ～ 128g/m^2)
厚紙 H	フェイスアップ	1 枚
	フェイスダウン	約 30 枚 (105g/m^2 ～ 128g/m^2)
OHP フィルム	フェイスアップ	1 枚
	フェイスダウン	10 枚

フェイスダウン排紙エリア

プリント面を下にして用紙がトレイに排出されます。
用紙はプリントされた順に積み重ねられます。

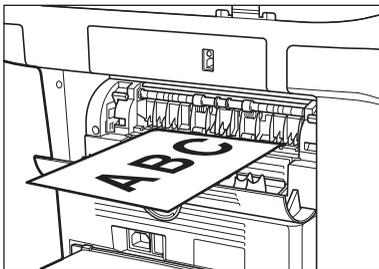
1 **フェイスアップカバーを閉じて、排紙トレイを取り付けます。**

メモ

- 排紙トレイに排出された用紙を押し戻さないでください。紙づまりの原因になります。
- 排紙トレイには用紙以外のものを載せないでください。紙づまりの原因になります。

フェイスアップ排紙エリア

本製品背面のフェイスアップ排紙エリアにプリント面を上にして用紙が排出されます。
用紙は本製品からまっすぐに排出されるため、カールしやすい OHP フィルム、封筒のプリントに便利です。

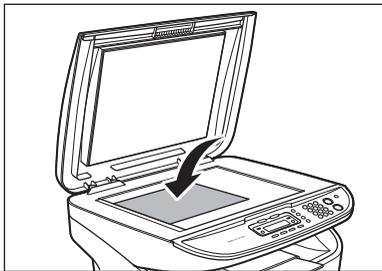
1 **フェイスアップカバーを開きます。**

排出された用紙は 1 枚ずつ取り除いてください。

メモ

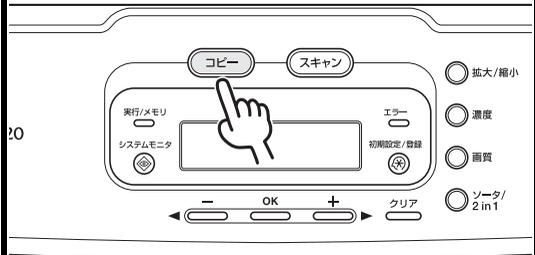
- 用紙を無理に引き出さないでください。
- 本製品にはフェイスアップ排紙トレイは装着されていません。排出された用紙は手で取り除いてください。
- 紙づまりを防ぐため、フェイスアップ排紙エリアの前にはものを置かないでください。

4 コピーする

次の手順でコピーします。
コピーの応用機能については、操作ガイド（応用編）「第 1 章 コピー」を参照してください。

1 原稿をセットする

原稿台ガラスに原稿をセットします。

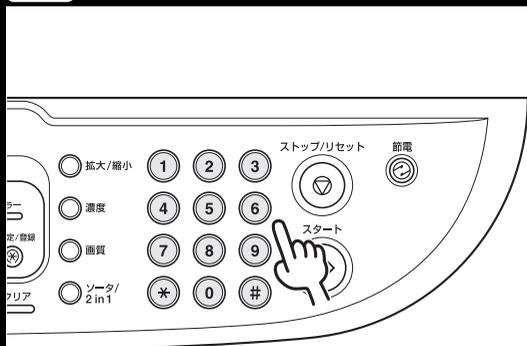
コピーできる原稿については、「使用可能な原稿」（→ P.2-1）を参照してください。
原稿のセットについては、「原稿を原稿台ガラスにセットする」（→ P.2-3）を参照してください。

2 コピーモードを選択する

［コピー］を押します。

コピーモードに入ります。

こんなときは ...

- **画質や濃度を調整したいとき：**
  「コピーの設定をする」（→ P.4-3）を参照してください。

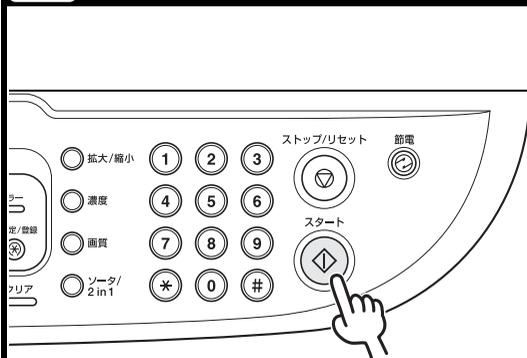
3 コピー部数を入力する

テンキーを使って、コピー部数（1 ～ 99 部）を入力します。

例）

100%	A4
◻ ■ ◗ モジ	3

こんなときは ...

- **間違って入力したとき：**
  ［クリア］を押して、部数を入力し直してください。

4 コピーを開始する

［スタート］を押します。

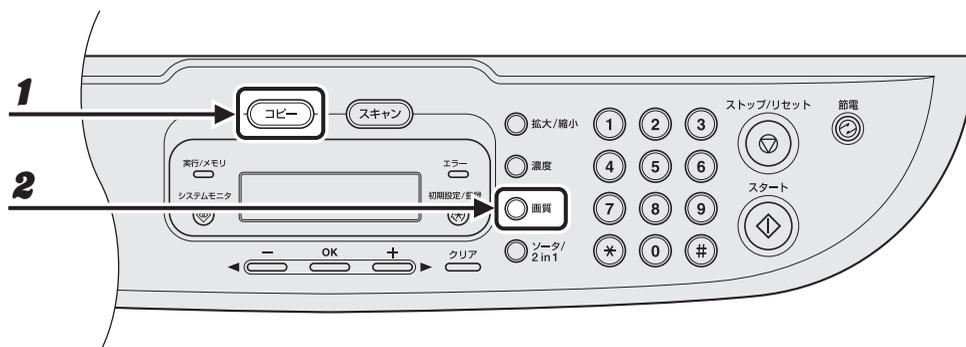
こんなときは ...

- **原稿読み込み中にコピーを中止したいとき：**
  ［ストップ / リセット］を押すと、すぐにコピーが中止されます。
- **プリント中にコピーを中止したいとき：**
  ［ストップ / リセット］を押すと、<ｺﾋﾟｰｦ ﾁｭｳｼ ｼﾏｽｶ ?> と表示されます。［◄－］を押して <ﾊｲ> を選択するとコピーが中止されます。

コピーの設定をする

コピーを開始する前に、コピーする原稿に合わせて設定を調整することができます。1 分間何も操作しなかった場合や［ストップ / リセット］を押した場合、これらの設定は自動的に工場出荷時の設定に戻ります。

画質を調節する

---

1 **［コピー］を押します。**

2 **［画質］を押して、お好みの画質を選択します。**

<ﾓｼﾞ >：文字原稿に適しています。
<ﾌｫﾄ>：写真原稿に適しています。
<ﾓｼﾞ /ｼｬｼﾝ>：文字と写真の両方を含む原稿に適しています。

メモ

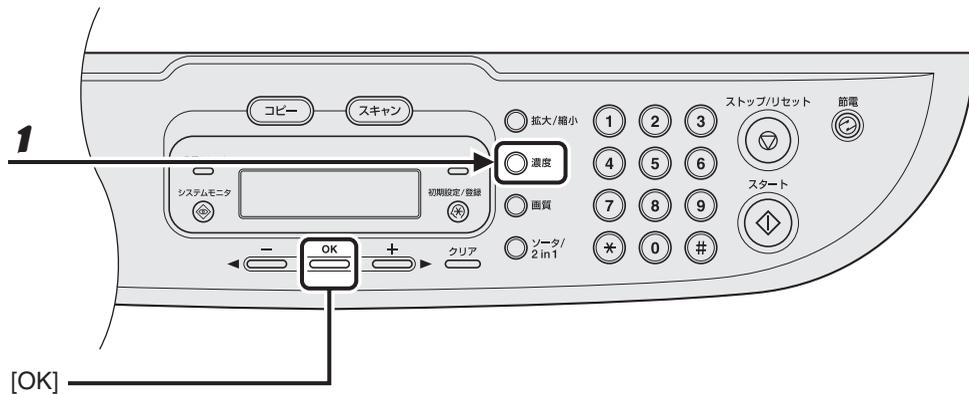
<ﾓｼﾞ /ｼｬｼﾝ> か <ﾌｫﾄ> を選択すると、濃度は自動的に手動設定に切り替わります。

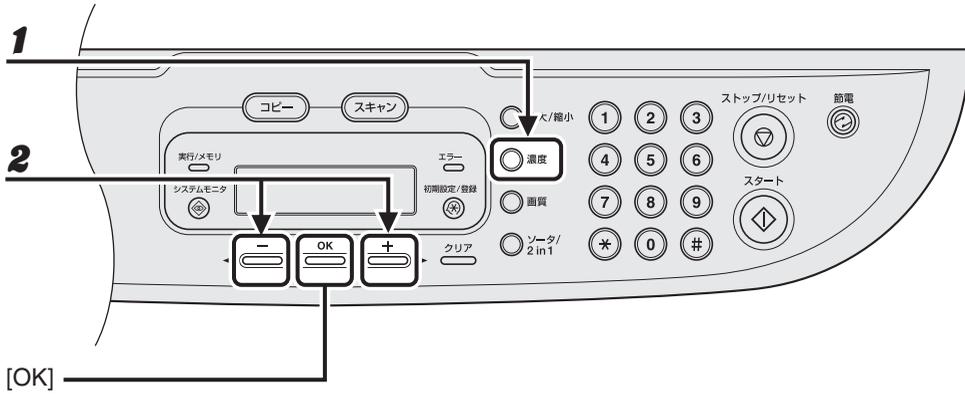
濃度を調節する

原稿の濃淡に合わせて、自動または手動で濃度を調節できます。

● 自動調整

1　**［濃度］を 2 回押して、<ｼﾞﾄﾞｳ> を選択し、［OK］を押します。**

メモ

<ｼﾞﾄﾞｳ> に設定すると、画質モードは自動的に <ﾓｼﾞ > に切り替わります。

● 手動調整

1 **［濃度］を押して手動モードを選択します。**

例）

```
ヨミトリ ノウド゛
-ウスク ◖□□□□■□□□□◗ コク+
```

2 **［◄ー］または［+►］を押して、コピー濃度を調節し、［OK］を押します。**

［+►］：コピー濃度を濃くします。
［◄ー］：コピー濃度を薄くします。

メモ

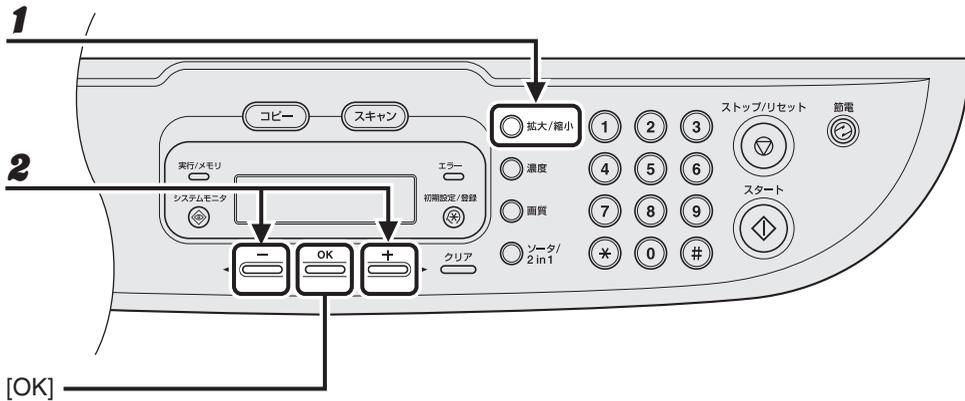
濃度を薄く設定すると、目盛りは左に移動します。濃度を濃く設定すると、目盛りは右に移動します。

倍率を設定する

定形変倍またはズーム変倍を使ってコピーサイズを拡大／縮小できます。

● 定形変倍を使用して拡大／縮小する

定形サイズの原稿を他の定形サイズの用紙に拡大／縮小コピーできます。

---

1 **［拡大 / 縮小］を押します。**

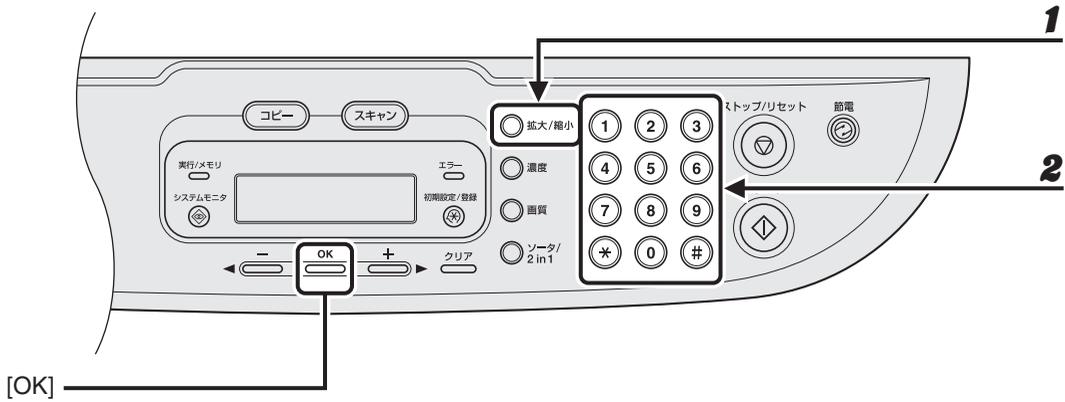
2 **［◄ー］または［＋►］を押して、コピー倍率を選択し、［OK］を押します。**

- 200% MAX.
- 141% A5 → A4
- 122% A5 → B5
- 115% B5 → A4
- 100%
- 86% A4 → B5
- 81% B5 → A5
- 70% A4 → A5
- 50% MIN.

メモ

メニューの <ｺﾋﾟｰ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ> の <ｻｲｽﾞ ｹｲﾚﾂ> が <ｲﾝﾁ> または <A> に設定されている場合、定形変倍は次のようになります。
ｲﾝﾁ : 50%、64%、78%、100%、129%、200%
A: 50%、70%、100%、141%、200%

● ズーム変倍を使って拡大／縮小する

倍率を設定して拡大／縮小コピーできます。50% ～ 200% の範囲を 1% 単位で設定できます。

1 [拡大 / 縮小] を 2 回押します。

2 テンキーを使ってコピー倍率を入力して、[OK] を押します。

例）

[◄−] または [+►] を使ってコピー倍率を調節することもできます。コピー倍率を大きくする場合は [+►]、小さくする場合は [◄−] を押してください。

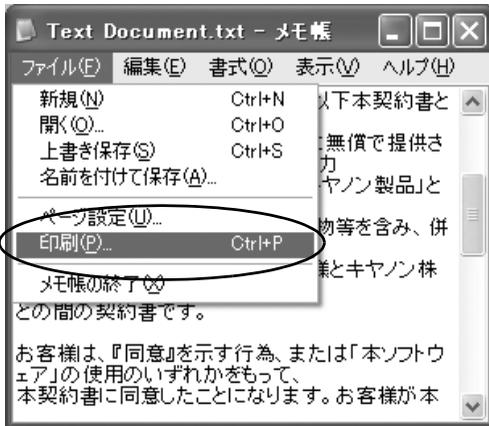
メモ

コピー倍率を 100% に戻すには、[ストップ / リセット] を押します。

コピーする

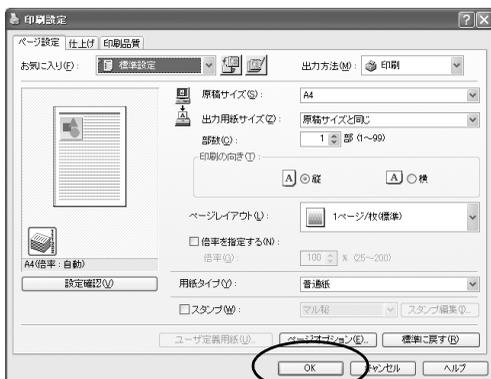
5 コンピュータからプリントする

次の手順でコンピュータからプリントします。
プリントする前にプリンタドライバをコンピュータにインストールしてください。
プリンタドライバの設定については、ソフトウェアガイド「第 2 章 印刷する」を参照してください。

1 印刷コマンドを選択する

アプリケーションで原稿を開き、［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

2 使用するプリンタを選択する

本製品のプリンタアイコン（[Canon MF3200 Series]）を選択します。

3 詳細を設定する

[詳細設定] または [プロパティ] をクリックするとダイアログボックスが表示されます。設定終了後、[OK] をクリックします。

4 プリントを開始する

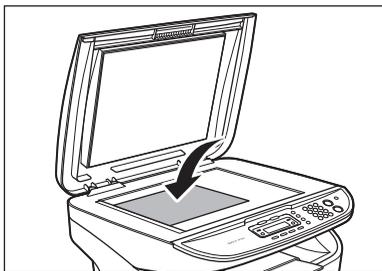
[印刷] または [OK] をクリックします。

こんなときは ...

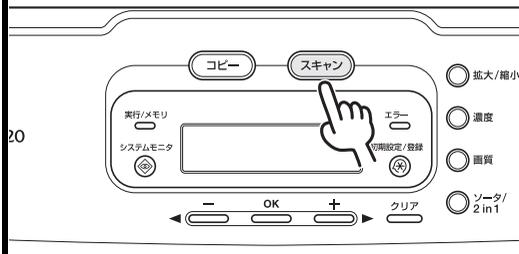
- **プリントを中止するとき：**
  操作ガイド（応用編）「第 2 章 システムモニタ」を参照してください。

6 スキャンする

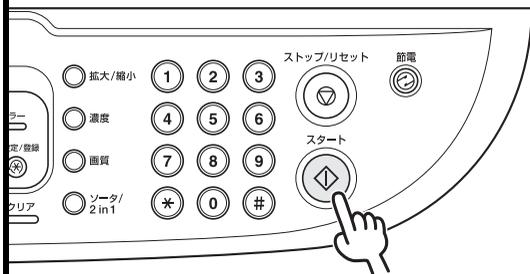
次の手順で原稿をスキャンします。
スキャンする前にスキャナドライバをコンピュータにインストールしてください。
スキャナドライバの設定については、ソフトウェアガイド「第3章 原稿をスキャンする」を参照してください。

1 原稿をセットする

原稿台ガラスに原稿をセットします。

スキャンできる原稿については、「使用可能な原稿」（→ P.2-1）を参照してください。
原稿のセットについては、「原稿を原稿台ガラスにセットする」（→ P.2-3）を参照してください。

2 スキャンモードを選択する

［スキャン］を押します。

スキャンモードに入ります。

3 スキャンを開始する

［スタート］を押します。

スキャンデータはコンピュータに送られ、スキャンアプリケーションで処理されます。スキャンアプリケーションの設定については、ソフトウェアガイド「第 3 章 原稿をスキャンする」を参照してください。

こんなときは ...

- **スキャンを中止するとき：**
  操作パネルの［ストップ / リセット］を押し、コンピュータ画面上の［OK］をクリックします。

7 日常のメンテナンス

日常のお手入れ

本製品の清掃をする前に、次の点に気を付けてください。

- 電源コードを外してください。
- 表面を傷つけないように柔らかい布をお使いください。
- ティッシュペーパー、紙タオルなどを清掃に使用しないでください。これらは本体内部に付着したり、静電気発生の原因になることがあります。

注意

シンナーやベンジン、アセトンなどの溶剤、および他の化学クリーナーは、本体内部の部品を損傷することがあります。絶対に使わないでください。

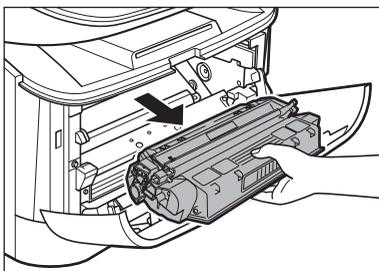
本体のお手入れ

1. 電源コードを外します。
2. 清潔で柔らかく、糸くずの出ない布を、水または薄めた中性洗剤に浸し、かたく絞ってから、本製品の表面を拭きます。
3. 完全に乾いたら、電源コードを接続します。

内部のお手入れ

トナーの粉や紙くずがたまらないように、定期的に本製品の内部を清掃してください。

1 電源コードを外します。

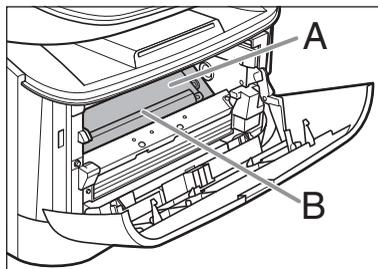
2 フロントカバーを開きます。

3 本体からトナーカートリッジを取り外します。

注意

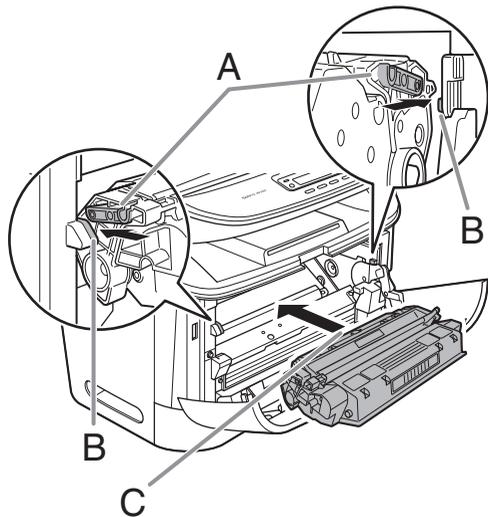
- トナーカートリッジは、光にさらさないように、購入時に収められていた保護袋に入れるか、厚手の布でくるんでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラム表面を光にさらしたり、傷つけたりすると、プリント品質が低下する恐れがあります。

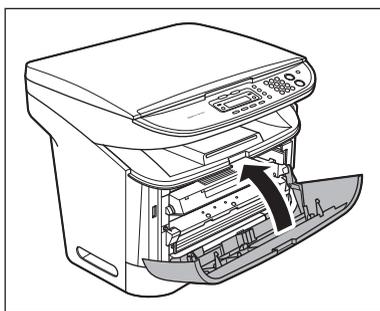
4 清潔で柔らかく、糸くずの出ない布を使って、内部のトナーの粉や紙くずを拭き取ります。

注意

- 定着器周辺（A）は使用中に高温になりますので、触れないように注意してください。
- 搬送ローラ（B）を傷つけないように注意してください。

- トナーで衣服や手が汚れた場合は、直ちに必ず水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

5 **トナーカートリッジを本製品に取り付けます。**

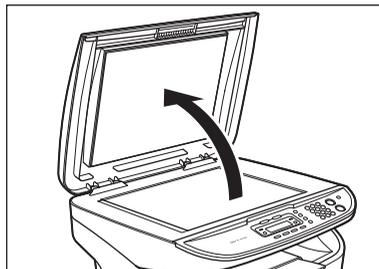
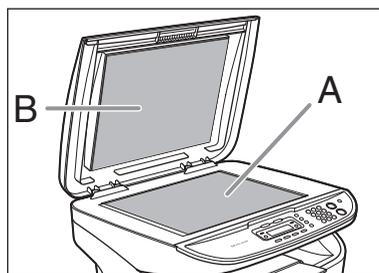
トナーカートリッジ両側の突起 (A) を本体内部のガイド (B) に合わせ、トナーカートリッジをゆっくりと本体に押し込みます。トナーカートリッジの矢印 (C) を本体の内側に向けて押し込んでください。

6 **フロントカバーを閉じます。**

注意

指をはさまないように注意してください。

7 **電源コードを接続します。**

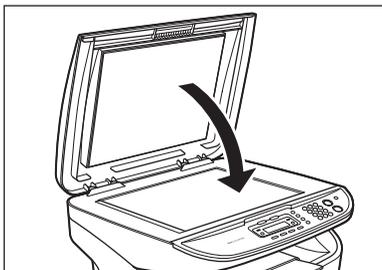
読み取りエリアのお手入れ

コピー品質を保つために読み取りエリアを清掃してください。

1 **原稿台ガラスカバーを開きます。**

2 **原稿台ガラス（A）と原稿台ガラスカバー（B）の下面を、水を含ませてかたく絞った布で拭いてから、清潔な布でから拭きします。**

メモ

布を湿らせすぎないでください。湿らせすぎた布を使うと、原稿が破れたり、本製品が損傷することがあります。

3 原稿台ガラスカバーを閉じます。

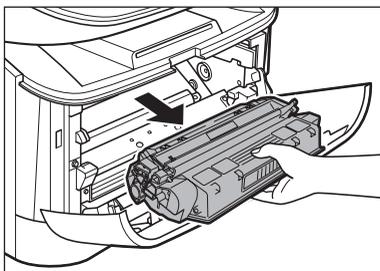
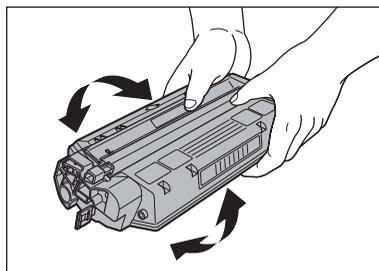
⚠ 注意

指をはさまないように注意してください。

トナーカートリッジの交換時期

プリントした用紙に白いスジや色の薄い帯が現れたときは、トナーが残り少なくなっています。その場合は、トナーカートリッジ内のトナーを均一にならします。それでも白いスジや色の薄い帯が現れる場合は、トナーカートリッジを交換します。

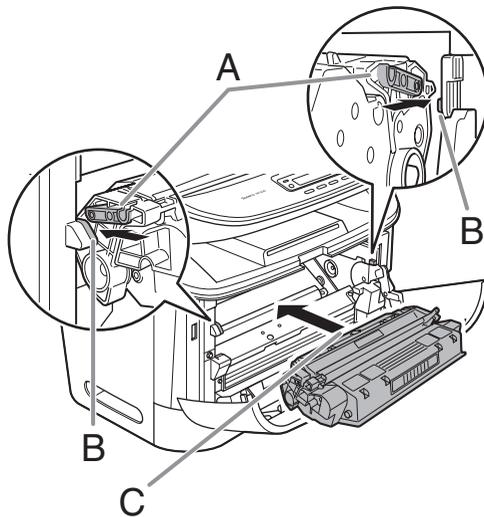
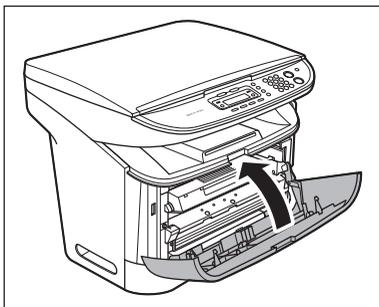
トナーを均一にならす

1 フロントカバーを開きます。

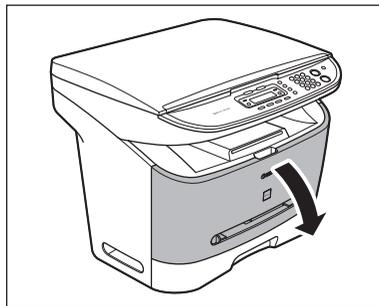
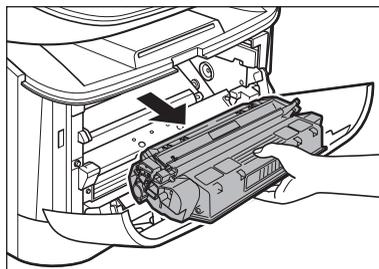
2 本体からトナーカートリッジを取り外します。

3 トナーカートリッジをゆっくりと 5、6 回振り、トナーを均一にならします。

4 トナーカートリッジを本製品に取り付けます。

トナーカートリッジ両側の突起 (A) を本体内部のガイド (B) に合わせ、トナーカートリッジをゆっくりと本体に押し込みます。トナーカートリッジの矢印 (C) を本体の内側に向けて押し込んでください。

5 フロントカバーを閉じます。

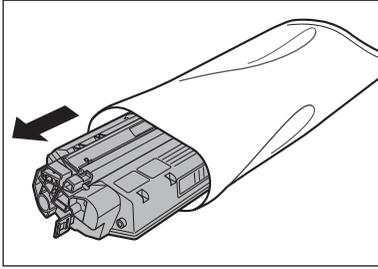
注意

指をはさまないように注意してください。

トナーカートリッジを交換する

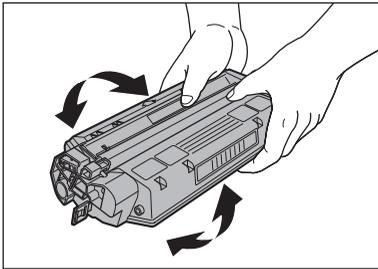
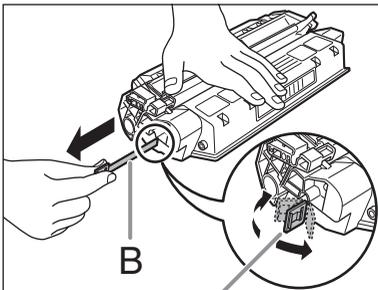
1 フロントカバーを開きます。

2 本体からトナーカートリッジを取り外します。

注意

トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラム表面を光にさらしたり、傷つけたりすると、プリント品質が低下する恐れがあります。

地球の天然資源を有効利用するとともに環境を保護するため、使用済みトナーカートリッジは購入店に返却してリサイクルすることを奨励しています。

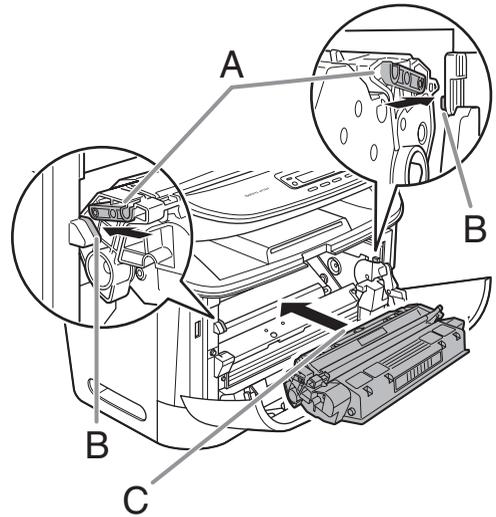
3 新しいトナーカートリッジを保護袋から取り出します。

メモ

保護袋は保存しておいてください。後で本製品からトナーカートリッジを取り外す際に必要となります。

4 トナーカートリッジをゆっくりと 5、6 回振り、トナーを均一にならします。

5 片手でトナーカートリッジを押さえながら、もう一方の手でタブ (A) を折り曲げ、テープ (B) を完全に引き抜きます。

メモ

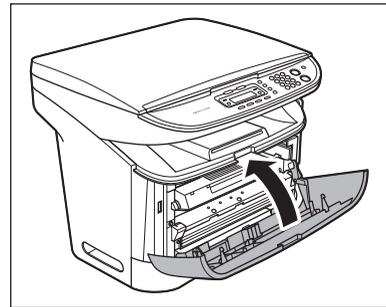
テープは上や下に引かないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。

6 トナーカートリッジを本製品に取り付けます。

トナーカートリッジ両側の突起 (A) を本体内部のガイド (B) に合わせ、トナーカートリッジをゆっくりと本体に押し込みます。トナーカートリッジの矢印 (C) を本体の内側に向けて押し込んでください。

7 フロントカバーを閉じます。

注意

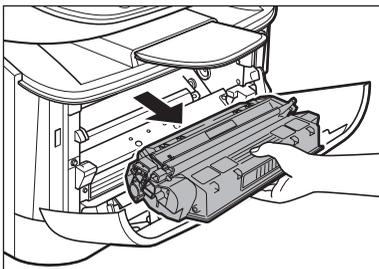
指をはさまないように注意してください。

日常のメンテナンス

本製品を移動するとき

長距離の移送などにより、本製品が振動を受ける可能性がある場合は、下記の注意事項に従ってください。

1 **電源コードを外します。**

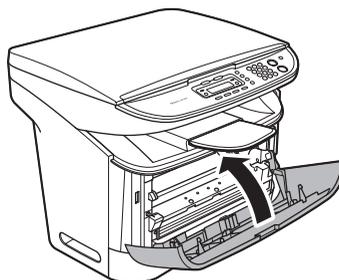
本製品をコンピュータに接続している場合は、プリンタケーブルを外します。

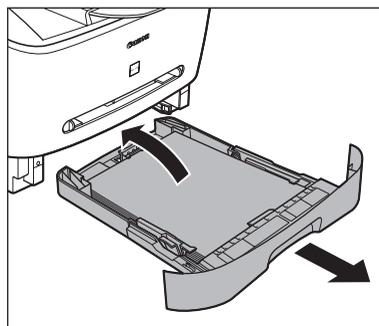
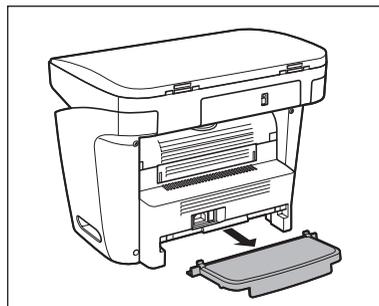
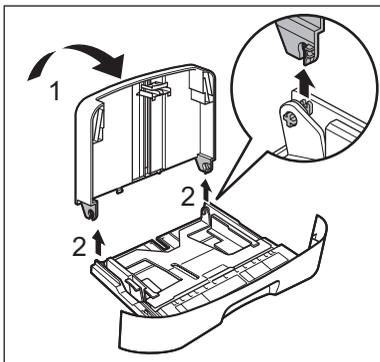
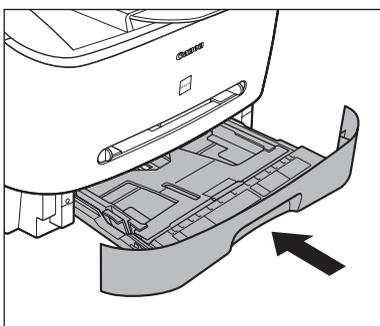
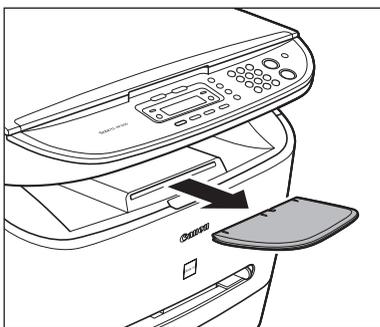
2 **フロントカバーを開きます。**

3 **本体からトナーカートリッジを取り外します。**

注意

- トナーカートリッジは、光にさらさないように、購入時に収められていた保護袋に入れるか、厚手の布でくるんでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラム表面を光にさらしたり、傷つけたりすると、プリント品質が低下する恐れがあります。

4 **フロントカバーを閉じます。**

注意

指をはさまないように注意してください。

5 **用紙カセットを完全に引き出し、用紙を取り除きます。**

6 **延長カバーを本体から外します。**

7 用紙カセットから延長カセットを外します。

8 用紙カセットを本体に戻します。

9 排紙トレイを外します。

10 すべてのカバーが閉じていることを確認します。

11 本体両側の指かけをつかみ、持ち上げます。

注意

- 本体を運搬する際には、必ず図の位置を持ってください。本体を落としてけがをする恐れがあります。
- 運搬する前に、本体の重量を確認してください。（→全体的な仕様：P.10-1）

8 困ったときには

用紙がつまったときには

本体内部に用紙がつまった場合、ディスプレイに紙づまりのメッセージが表示されます。その場合は、最初に本体内部の用紙を取り除き、必要であればカセットからも用紙を取り除きます。紙づまりがたびたび起きるときは、次のことを確認してください。

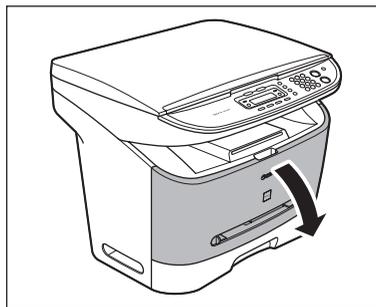
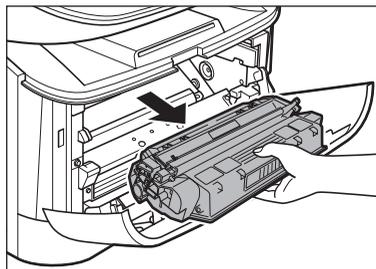
- 用紙をセットする前に、用紙をよくさばき、平らなところでたたいて端を揃える。
- 条件に合った用紙を使う。（→使用可能な用紙：P.3-1）
- 内部の紙くずを取り除く。

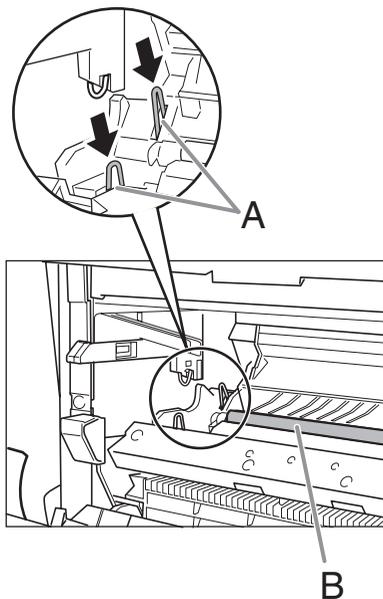
注意

本体内部とトナーカートリッジには、高圧や高温になる部分があります。内部を点検する際には、やけどや感電をしないように十分に注意してください。

メモ

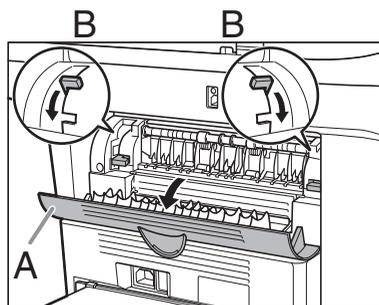
つまった用紙が取り除けない場合は無理に引っぱらず、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

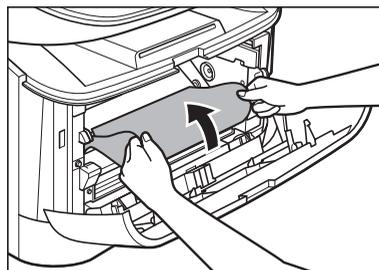
1 フロントカバーを開きます。

2 カートリッジを取り外します。

注意

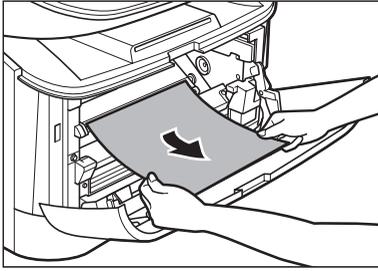
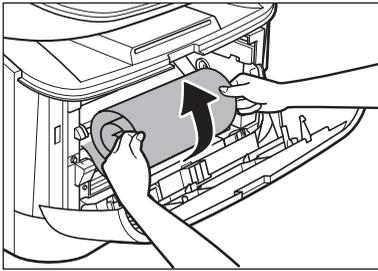
- 本体内部に触れる際は、時計、ブレスレット、指輪などを外しておいてください。内部の部品と接触して、損傷する場合があります。
- 本製品が損傷する恐れがあるので、搬送ローラ (B) の左端にあるピン (A) に触れないでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラム表面を光にさらしたり、傷つけたりすると、プリント品質が低下する恐れがあります。

- つまった用紙を取り除くときに、搬送ローラに触らないでください。指の油分やひっかき傷がつくと、プリント品質が低下する原因になります。

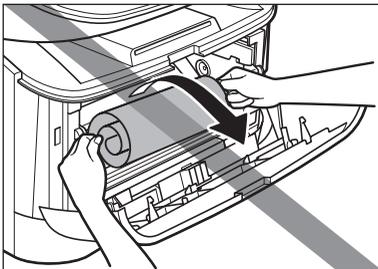
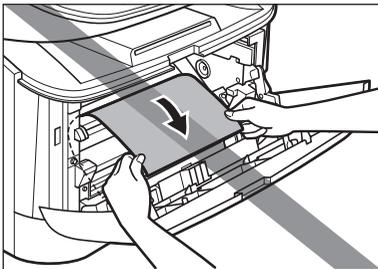
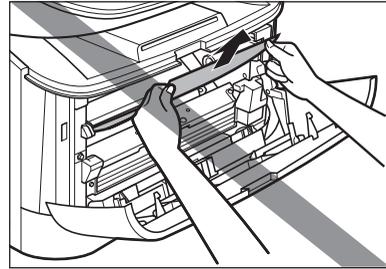
メモ

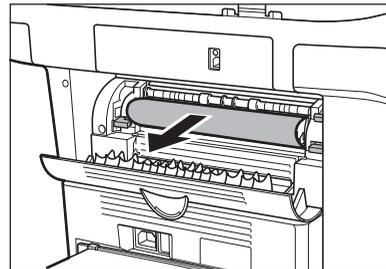
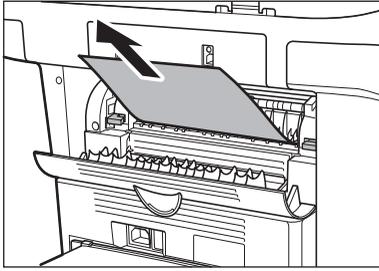
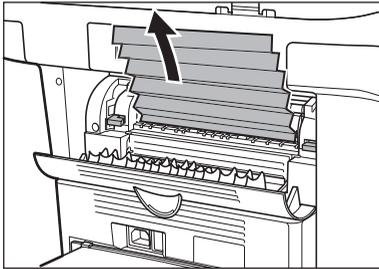
カートリッジに 5 分以上光が当たらないようにしてください。光にさらさないように、必要に応じて購入時の保護袋に入れるか、厚手の布でくるんでください。

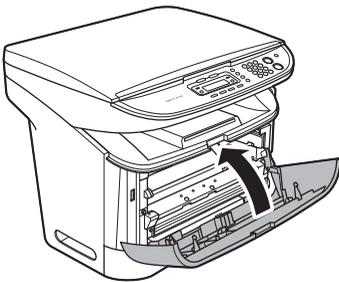
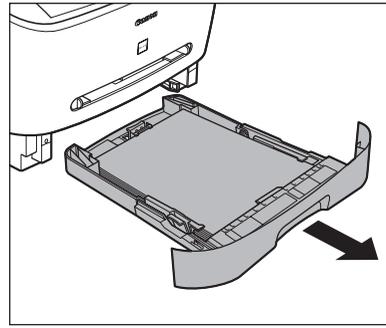
3 **フェイスアップカバー (A) を開いて、フェイスアップ排紙エリアの両側にある緑色の用紙解除レバー (B) を押し下げます。**

4 **つまった用紙の両端を持って、ゆっくり内側に引っ張り、静かに引き出します。**

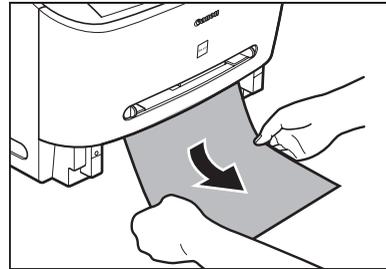
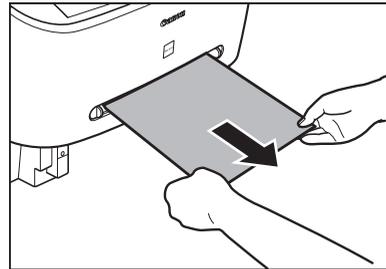
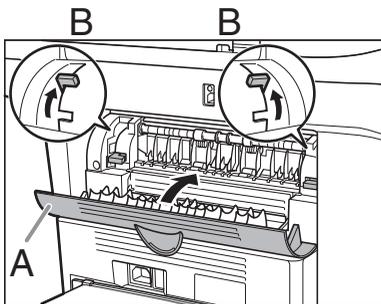
注意

- つまった用紙を取り除く際は、用紙の端で手を切らないよう注意してください。
- つまった用紙を取り除くときや、本体内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属製品が本体内部の部品と接触しないようにしてください。やけどや感電の恐れがあります。
- 用紙が破れた場合、破片がつまらないように、すべて取り除いてください。
- 手や衣服にトナーが付着した場合、冷水で洗ってください。温水を使うとトナーが定着し、落ちなくなります。

5 つまった用紙を静かに本体から引き出します。

用紙の先端が見えていて定着エリアに引き込まれていない場合、用紙を手前に引っ張って内巻きにします。

注意

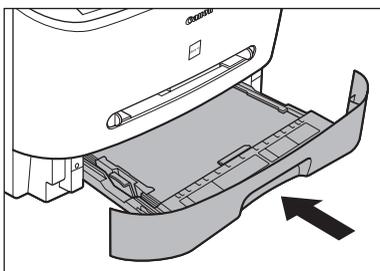
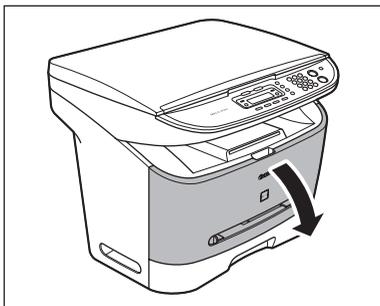
- つまった用紙を用紙カセットから手前に引っ張らないでください。故障の原因になる場合があります。

- つまった用紙を上に引っ張らないでください。用紙についたトナーがプリンタに付着して、プリント品質が低下する原因になります。

つまった用紙を取り除けた場合は、手順 14 に進みます。取り除けなかった場合は、手順 6 に進みます。

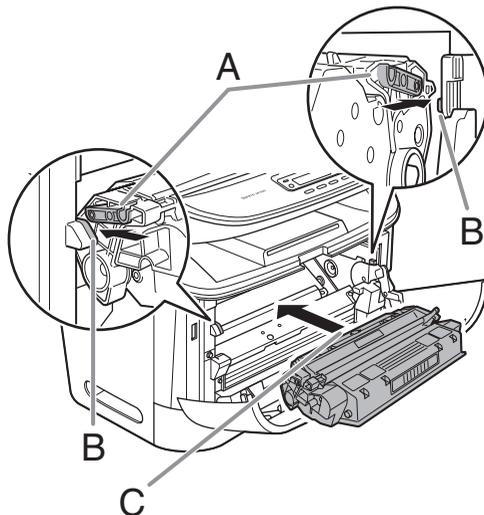
6 排紙ローラの間にあるつまった用紙を、先端が見えるまで静かに引っ張ります。

7 用紙を排紙ローラからまっすぐ引き抜きます。

つまった用紙がひどく折れ曲がっている場合は、用紙を伸ばしてから引き抜いてください。

つまった用紙を取り除けた場合は、手順 14 に進みます。取り除けなかった場合は、手順 8 に進みます。

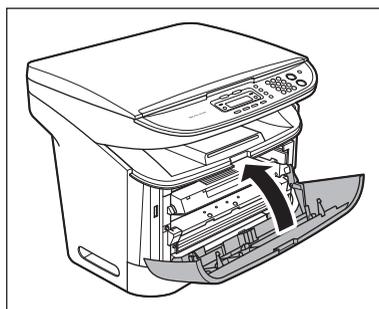
8 フロントカバーを閉じます。

9 用紙カセットを完全に引き出します。

10 つまった用紙の両側を持って、矢印の向きにゆっくりと引き抜きます。

・ 用紙カセットを使って用紙がつまった場合

・ マルチフィーダを使って用紙がつまった場合

11 用紙解除レバー（B）を元の位置に戻して、フェイスアップカバー（A）を閉じます。

メモ

- かならず用紙解除レバーを元の位置に戻してください。レバーを下げたままでは動作しません。
- プリント中は絶対に用紙解除レバーを下げないでください。固定部品が損傷する恐れがあります。

12 用紙カセットを本体に入れます。

13 フロントカバーを開きます。

14 トナーカートリッジを本製品に取り付けます。

トナーカートリッジ両側の突起 (A) を本体内部のガイド (B) に合わせ、トナーカートリッジをゆっくりと本体に押し込みます。トナーカートリッジの矢印 (C) を本体の内側に向けて押し込んでください。

15 フロントカバーを閉じます。

注意

指をはさまないように注意してください。

メモ

トナーカートリッジを交換してフロントカバーを閉じると動作可能になります。動作可能な状態に戻らない場合は、用紙解除レバーが元の位置に戻っているか、つまった用紙が残っていないかを確認してください。

ディスプレイの表示

ジョブの実行中やエラーが発生すると、ディスプレイにメッセージが表示されます。

メッセージ	原因	処置
ﾌﾟﾘﾝﾀｦ ﾃﾝｹﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	本体に何らかのエラーが発生している。	フロントカバーを開閉して本製品をリセットします。メッセージが消えない場合は、電源コードをコンセントから抜いて、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
ﾊﾞｰｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ ﾏｴｶﾊﾞｰ	フロントカバーが完全に閉じていない。	フロントカバーが完全に閉じているか調べてください。
ﾀﾀﾞｼｲﾖｳｼｦｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	用紙カセットまたはマルチフィーダにある用紙のサイズが <ﾖｳｼｾｯﾃｲ> メニューの <ｶｾｯﾄ> または <ﾃｻﾞｼﾄﾚｲ> の設定で指定した用紙と違う。	正しいサイズの用紙をセットするか、<ﾖｳｼｾｯﾃｲ> メニューの <ｶｾｯﾄ> または <ﾃｻﾞｼﾄﾚｲ> の設定を変更します。（→用紙をセットする：P. 3-4 または 用紙のサイズと種類を設定する：P. 3-7） フロントカバーを開閉して本製品をリセットします。
ﾖｳｼｦ ﾎｷｭｳｼﾃｸﾀﾞｻｲ	用紙カセットやマルチフィーダに用紙がセットされていないか、正しくセットされていない。	用紙カセットまたはマルチフィーダに用紙をセットしてください。（→用紙をセットする：P.3-4） 用紙カセットの用紙が収容枚数を超えないようにしてください。 用紙をマルチフィーダに 1 枚ずつセットしてください。 コピー中に用紙をセットする場合は、サイズの異なる用紙をセットしないでください。 ディスプレイの 2 行目に <ｶｾｯﾄ> または <ﾃｻﾞｼﾄﾚｲ> というメッセージが表示され、用紙サイズが表示される場合があります。この場合には、用紙カセットまたはマルチフィーダに該当するサイズの用紙をセットしてください。

メッセージ	原因	処置
ﾒﾓﾘｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ	大量の原稿をセットしている状態でソートや 2in1 コピー機能を使用したために、本体のメモリがいっぱいになった。	原稿を分割して、各部分を別々にコピーしてください。
ﾖｳｼｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃ ｸﾀﾞｻｲ	用紙がつまっている。	つまった用紙を取り除いて（→用紙がつまったときには：P.8-1））、用紙カセットまたはマルチフィーダに用紙をセットし直してください。次にフロントカバーを開閉して本製品をリセットしてください。
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ	電源を入れたばかりでコピーができる状態になっていない。	メッセージが消えるまでしばらくお待ちください。
ﾃｻﾞｼﾉ ﾖｳｼｦ ｼﾞｮｷｮ	用紙カセットからプリント中、または、コピー時の原稿読み取り中にマルチフィーダに用紙がセットされた。	マルチフィーダから用紙を取り除いてください。
ｼｽﾃﾑｴﾗｰ Exxx	本体に何らかのエラーが発生している。<xxx> は、エラーの種類を示す 3 桁の番号です。	電源コードをコンセントから抜いて 3 ～ 5 分ほど待ち、もう 1 度電源につなぎます。これで問題が解消しない場合は、電源コードをコンセントから抜いて、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾄﾅｰｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	トナーカートリッジが装着されていないか、正しく装着されていない。	トナーカートリッジを正しく装着してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.7-6）
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾃﾞｰﾀｴﾗｰ	コンピュータからプリントできない。	プリントを実行したソフトウェアが正しくインストールされているか調べてください。または、USB ケーブルが正しく接続されているか調べてください。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾁｭｳ	プリントジョブを実行している。	プリントが終了するまでお待ちください。

トラブルが解決しない場合

本製品にトラブルが発生し、この章の処置を行っても解決しない場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
ご連絡の前に、次の情報をご確認ください。

- 製品名
  Satera MF3220
- 製造番号
  製造番号は本体裏面ラベルに記載しています。
- ご購入店
- トラブルの内容
- トラブルを解決するためにとった措置とその結果

本製品から変な音が聞こえたり、煙が出たり変な臭いがする場合は、すぐに電源コードをコンセントから外して、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。ご自分で分解したり、修理したりしないでください。

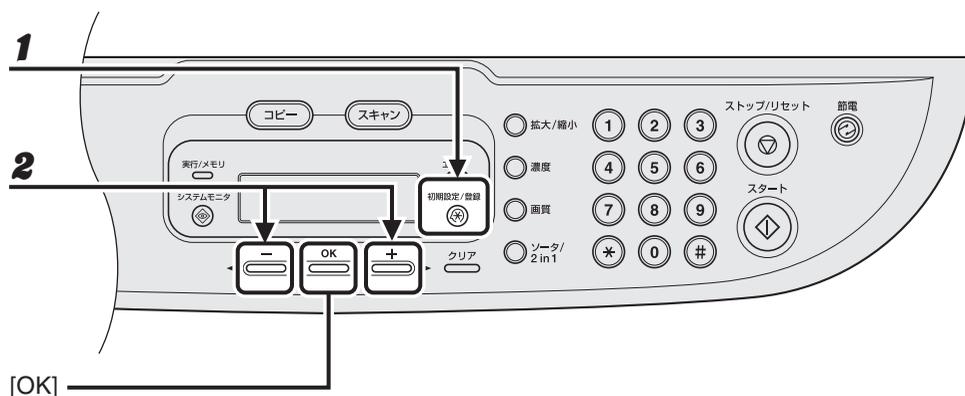
メモ

ご自分で分解修理した場合、保証の対象外になることがあります。

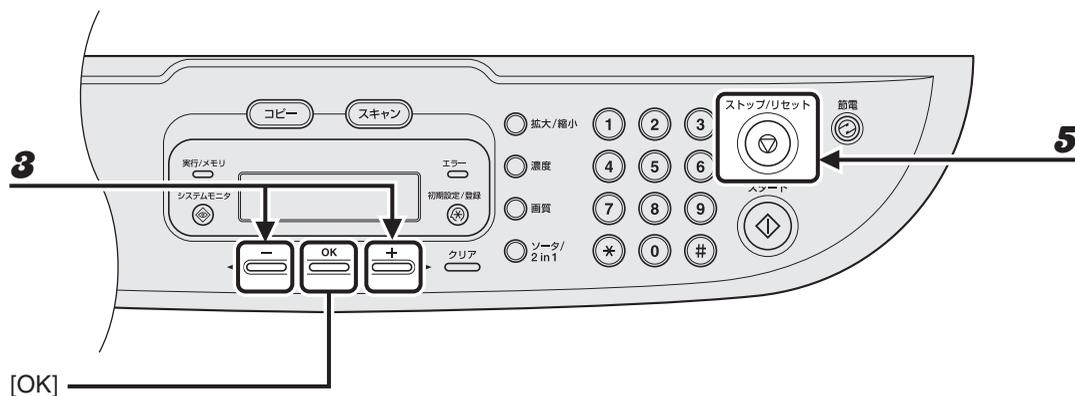
各種機能の登録／設定

各種機能を登録／設定する

設定メニューから本体の設定をすることができます。

設定メニューを使う

1　［初期設定 / 登録］を押します。

2　［◄－］または［＋►］を押して、変更したいメニューを選択し、［OK］を押します。

< ｷｮｳﾂｳ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ >
< ｺﾋﾟｰ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ >
< ﾀｲﾏｰ ｾｯﾃｲ >

3 **[◄ー] または [＋►] を押して、変更したい設定項目を選択し、[OK] を押します。**

4 **設定を登録するときや、さらにこまかい設定に進むときは、[OK] を押します。**

5 **[ストップ / リセット] を押して、待受表示に戻ります。**

メモ

メニューを終了するには、[ストップ / リセット] を押します。[OK] を押す前に [ストップ / リセット] を押すと、選択した項目は登録されません。

メニューの設定内容

ｷｮｳﾂｳ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ	
設定項目	**設定内容**
1 ｼｮｷｷﾉｳﾉｾｯﾃｲ	電源コードを接続したときに表示される待受画面を選択します。 ・ ｺﾋﾟｰ ・ ｽｷｬﾝ
2 ﾄﾅｰｾｰﾌﾞ ﾓｰﾄﾞ	トナーセーブモードを設定します。 ・ OFF ・ ON
3 ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ	用紙カセットまたはマルチフィーダにセットする用紙の種類およびサイズを選択します。（→用紙のサイズと種類を設定する：P.3-7） ・ ｶｾｯﾄ ・ ﾃｻﾞｼﾄﾚｲ

ｺﾋﾟｰ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ	
設定項目	**設定内容**
1 ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ	自動または手動の濃度設定モードを選択します。 ・ ｼｭﾄﾞｳ ・ ｼﾞﾄﾞｳ* * <ｼﾞﾄﾞｳ>を設定すると、画質モードは自動的に<ﾓｼﾞ>に切り替わります。
2 ｶﾞｼﾂ	原稿の種類を選択します。 ・ ﾓｼﾞ ・ ﾌｫﾄ* ・ ﾓｼﾞ/ｼｬｼﾝ* * <ﾌｫﾄ>または<ﾓｼﾞ/ｼｬｼﾝ>を設定すると、読み取り濃度は自動的に<ｼｭﾄﾞｳ>に切り替わります。
3 ｼﾞﾄﾞｳ ｿｰﾄ	自動ソートを設定します。 ・ OFF ・ ON
4 ｻｲｽﾞ ｹｲﾚﾂ	用紙サイズグループを選択します。 ・ AB ・ ｲﾝﾁ ・ A * 用紙サイズグループを変更すると、定形変倍で選択できる拡大縮小率が切り替わります。

ﾀｲﾏｰ ｾｯﾃｲ	
設定項目	**設定内容**
1 ｵｰﾄｽﾘｰﾌﾟ	節電モードを設定します。一定時間（3 ～ 30 分）何も操作をしないと、自動的に節電モードに移行します。（→節電モードを設定する：P.1-7） ・ ON ・ OFF

10 付録

おもな仕様

全体的な仕様	
● 形式	パーソナルデスクトップ
● 電源	AC100 V　50 Hz/60 Hz
● 消費電力	最大消費：約 540 W 動作時消費：365 Wh 以下 待機時消費：7 Wh 以下 節電モード時消費：5 Wh 以下
● ウォームアップタイム	8 秒以下（温度：20 ℃、湿度：65 %、電源投入時から待受画面が現れるまでの時間） ウォームアップ時間は本製品を使用する条件と環境によって異なる場合があります。
● 重量	約 10.8 kg（カートリッジ含む）
● 外形寸法 （幅×奥行×高さ）	449 mm × 487 mm × 369 mm （用紙カセット取り付け時） 449 mm × 539 mm × 369 mm （用紙カセット取り付け／フロントカバー開放時）
● 設置スペース（幅×奥行）	649 mm × 984 mm
● 使用環境	温度：15 ～ 30 ℃ 湿度：10 ～ 80 %RH（結露しないこと）
● 使用可能な原稿	→ P. 2-1
● 使用可能な用紙	→ P. 3-1
● プリント範囲	→ P. 3-2
● 原稿の読み取り範囲	→ P. 2-2

コピーの仕様	
● 読取解像度	文字モード：約 600 dpi × 400 dpi 文字／写真モード：約 600 dpi × 600 dpi
● 出力解像度	約 600 dpi × 600 dpi
● コピー倍率	1：1 ± 1.0 %、1：2.00、1：1.41、1：1.22、 1：1.15、1：0.86、1：0.81、1：0.70、1：0.50 ズーム 0.50 - 2.00、1 % 刻み
● 初回コピー時間	11 秒以下（A4）
● コピー速度	等倍：A4 20 枚／分
● コピー部数	1-99

プリンタの仕様	
● 印刷方式	間接静電気転写システム
● 用紙積載可能枚数	カセット給紙：250 枚（64 g/m²） マルチフィーダ：1 枚
● 使用可能な用紙	→ P. 3-10
● プリント速度	等倍：A4 20 枚／分
● 出力解像度	約 600 dpi × 600 dpi
● 階調数	256 階調
● トナーカートリッジ	→ P. 1-5

製品が改良され変更になったり、今後発売される製品によって内容が変更になることがありますので、ご了承ください。
本製品に関する情報はこちらでもご確認いただけます。
キヤノン Satera ホームページ
■ http://canon.jp/satera/

付録

索引

付録

ま

め

よ

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

お客様相談センター
（全国共通番号）

050-555-90024

[受付時間]　〈平日〉9:00～20:00
〈土日祝祭日〉10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9331 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノン販売株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

FA7-8959　(000)

PRINTED IN JAPAN OR CHINA